

東北大学大学院歯学研究科  
インターフェイス口腔健康科学  
第106回学術フォーラム  
*Forum for Interface Oral Health Science*

『医療機器開発ーなぜ日本から世界へ！  
って、ならないんだらう？ー』

石井 健介 先生

独立行政法人医薬品医療機器総合機構 (PMDA)  
医療機器審査第二部・部長

平成29年5月24日(水) 18:00～19:00  
歯学研究科臨床研究棟(C棟)1階・大会議室

日本には世界に誇る様々な産業・技術が存在するが、それらを応用して日本から世界に向けた医療機器の開発はなかなかうまくいかない現状がある。特に、生体に侵襲を伴う製品となると、そのリスクゆえに日本のもの作り文化とマッチしないとも言われる。

失敗のリスクをどうしても避けたい企業、自身が持つシーズ等が医療機器としてどのように応用できるのかわからない他業種、医療機器としての製品化を目指さない研究者ら、高コストな国内治験環境など。しかし、今、世界からは新しい技術を導入した様々な製品が医療機器として世に出ようとしている。

連絡先: 第106回モデレーター 佐々木 啓一 (歯学イノベーションリエゾンセンター)